

支援プログラム

事業所名：こどもデイケアいずみ

作成年月日 令和7年3月7日

法人 (事業所) 理念	<p>法人理念：誠実な心、そして謙虚な心で精進し、すべての利用者に心のこもった温もりのある支援をしてまいります。</p> <p>基本方針：①人権の尊重（自己決定の尊重・守秘義務の徹底・虐待防止に努めます） ②利用者に応じた個別支援プログラムの作成 ③日常生活支援サービスの充実 ④施設環境の整備 ⑤保護者の方や地域との連携 ⑥職員の研修</p>
支援方針	<p>◎どの子も伸びるという観点のもとに、個々の児童の特性をいかし、それぞれに持つ限りない可能性を追求して、児童一人一人の成長に寄与することを目的とします。</p>
営業時間	<p>◎開所日 月、火、木、金：10時～15時 水：10時～13時15分</p> <p>◎休園日 土、日、国民の祝日 年末年始（年度により日程は異なる） 春休み（年度により日程は異なる）</p>
送迎の有無	<p>有 各バス停（公共施設、コンビニ、お店等）を設定し、バス停までは保護者の方が送迎</p>

		支援内容	活動例
本人 支援	健康 ・ 生活	<p>◎生活習慣・生活リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活の流れは固定し、生活習慣や生活リズムが定着するように支援します。 一日の流れを絵カード等を用いて視覚的に提示し、見通しを持って活動に参加できるように支援します。 <p>◎基本的な生活スキルの獲得（食事、排泄、更衣、身辺整理、清潔の保持等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々に合わせた食事の提供や食具の操作とOTによる自助具の作成をします。 個々の排泄リズムの把握と個々に合わせた排泄トレーニングを支援します。 身の回りの物を出す場所を視覚的に示し、自ら朝の用意ができるように支援します。 着替えの着脱等を部分的に介助し、スモールステップでできるように支援します。 <p>◎健康状態の把握と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用児の心身の状況を保護者と共有していきます。 衣類の調整や室温調節、安全への配慮を行います。 医師、看護師と連携し定期的な回診を行い、疾病予防や健康状態の把握に努めます。 	<p>スケジュール 手順書</p> <p>食事 更衣 排泄 身辺整理 手洗い 歯磨き 朝の準備</p> <p>内科健診 歯科検診</p>

<p>運動 ・ 感覚</p>	<p>◎粗大運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 立つ、歩く、登る、跳ぶ等といった粗大運動能力の向上を図ります。 姿勢を保持する力、バランス能力、身体のイメージ等を高めるような感覚運動遊びを提供します。 姿勢保持が難しい利用児は PT と連携して、身体機能に合わせた姿勢保持装置を使用します。 <p>◎手指の巧緻性</p> <ul style="list-style-type: none"> 手先を使った動作や道具の操作といった手先の巧緻性の向上を図ります。 <p>◎感覚</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚といった感覚刺激を提供する活動を取り入れていきます。 利用児それぞれの感覚特性を理解し、安心して過ごせるように環境設定をしたり、対応をしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巧技台 ・肋木 ・トランポリン ・ブランコ ・サーキット ・乗り物 ・リズムあそび ・バランスボール ・戸外遊び ・水遊び ・感触あそび (粘土、スライム、ぶるぶるボール、寒天、氷、片栗粉、春雨等) ・自立課題 ・楽器あそび ・スヌーズレン ・パラバルーン ・制作活動など
<p>認知 ・ 行動</p>	<p>◎認知</p> <ul style="list-style-type: none"> 物の性質や形、色、大小、数字等の概念の理解が広がるように支援します。 活動の始まりと終わりを明確にし、手順書に合わせて行動する機会を設け、時間・順序等の概念を育みます。 利用児の特性に応じた提示方法や教材の活用、声掛け等を工夫します。 季節に応じた行事やあそびを通して、四季の変化を味わい、豊かな感性を育みます。 <p>◎行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用児が不安や混乱、様々な気持ち等から出る行動の理由を探り、適切な表出手段や行動の習得を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール ・手順書 ・楽器あそび ・手遊び ・季節の行事 ・会（朝、帰り） ・制作活動など
<p>言語 ・ コミュニケーション</p>	<p>◎言語</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉を結び付け、言葉の理解が広がるよう促します。 利用児に合わせた方法での表出を促します。 <p>(言葉、指差し、ジェスチャー、絵カード、文字、マカトン、アイコンタクト、各種機器など)</p> <p>◎コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通して職員との関係性を構築し、コミュニケーション能力の向上を図ります。 場面を設定して視覚的な手がかりを用いながら、自発的に伝えられるように支援します。 行事や保育の写真等を見て、場面や人、物と言葉が繋がるように振り返る。その場面での気持ちを職員と一緒に共有し、気持ちへの気づきに繋がるように支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本 ・歌 ・ペープサート ・手あそびなど ・食事場面 ・あそび場面 ・振り返りなど
<p>人間関係 ・ 社会性</p>	<p>◎人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> アタッチメントを促し、人間関係や社会性の基盤を作ります。 集団活動を通して、お友達への意識が高まるように支援します。 <p>◎社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人遊びから併行遊び、大人との関わりあそび、お友達との関わりあそびといったステップを踏んで、あそびを広げていきます。 大人との模倣あそびから、見立てあそび、ごっこあそびなどに広げ、お友達との関わりを広げます。 お友達との遊びの中で、社会性の発達を促します。 (物の共有、貸し借り、順番を待つ、役割やルールを理解する等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体あそび ・手あそび ・ままごと ・ごっこあそび ・ルールあそび ・ゲームあそびなど ・お手伝い

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭訪問を実施し家庭での様子を伺い、利用児の家での様子や困り事等、子育てに関する相談を行います。 • 年3回個別支援計画の見直しを行い、懇談の機会を設けます。 • 保護者面談の機会を必要に応じて設けます。 • ご家族のニーズに対応するために開所時間の前後に延長支援を行います。
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 就園、就学先など移行先との連携や引継ぎ。 • 進路や移行先の選択についての相談援助。 • 就園、就学に向けて事業所の案内や連携。 • 各市町の教育委員会からの就学児の見学対応や現状調査表の提出。
<p>地域支援 ・ 地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の保健師や相談支援事業所、通所支援事業所等、関係機関同士の連携を図ります。 • 地域のネットワーク会議やこども支援部会に参加します。 • 地域の事業所と連携し、定期的な連絡会や活動に参加します。
<p>職員の質の 向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外部研修への参加 • 内部研修にて支援方法や関わり方等の事例検討 • 年間計画として、研修機会の制定
<p>主な行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 入園式 ・ 卒園式 ・ 運動会 ・ 親子遠足（年2回） ・ 年長児特別保育（年2回） • 季節の行事（七夕、クリスマス、節分） ・ プールあそび（7、8月） • 誕生日会（毎月） • 参観週間（年2回） ・ 懇談（年3回） ・ 家庭訪問 • 避難訓練（毎月）